

# キリストがすべて

第159号 2018年12月1日発行



CONTENTS	Page
巻頭言	1
座談会	2
プロジェクト2030	
TCUが取り組む大学改革	5
夏の活動報告	6
ニュース	10
卒業生インタビュー	12
支援会ニュース	13
Information	16

- ① シオン祭
- ② イオンモールクリスマスツリー点灯式
- ③ ACTS-ES同窓会バーベキューパーティー
- ④ ありがとう音頭フェスティバル
- ⑤ 異文化実習

## 勇士の走路を憶えて



副学長・神学部長  
大和 昌平

モルトマンは『終わりのの中に、始まりがー希望の終末論ー』（蓮見幸恵訳、新教出版社）に自らの救いの証を書いていきます。第二次大戦中17歳のドイツ兵モルトマンは英国軍の空襲を迎え撃つ中、九死に一生を得ます。彼は捕虜収容所で英国人のチャブレンから贈られた聖書を通してキリストに出会いま

す。やがて神学を志し、死という絶望の中に神がくださる希望を語る神学者となるのです。

2018年10月24日、一年前のこの日に61歳の若さで天に召された小林高德前学長のメモリアルチャペルを持ちました。ランドル・シヨート教授が留学中に小林先生が訪ねてくれたことや、帰国時には空港まで出迎えてくれたことなど、優しく関わってくださった小林先生の思い出を語りました。キリストの友情論は小林先生の最初の研究テーマでしたが、学生や同僚の一人一人との友情に生きた人でした。

長野県東御市に生まれ育った小林先生は東京での学生時代、大学に向かわれての小畑進牧師の『伝道者の書』

の説教を通してキリスト者になりました。そこから、英語教員を経て、東京基督教神学校に学び、新約学を専攻して留学し、学位を取られて母校に帰還し、本学学長の重責を担われるまで走り続けてこられました。

『小畑進著作集』には『伝道者の書』の説教が収められています。その説教を読み返しながら、若き日に創造者を覚え、キリストの友とされた喜びに生きられた小林高德先生の走路を思い返しています。その中の二つの説教を縮める小畑先生の祈りを引きます。

「主よ。『伝道者の書』は人生大実験のカルテ・診断書です。虚無主義、教養主義、快樂主義と登場し、実験され、落第していきます。もし、あなたにお会いできなかったら、そんな人生を送らなければならなかったことでしょう。あとには空の空という音を聞きながら。神いまして、また神を覚えて、二膳の飯二碗の汁に、生き甲斐を知り、味わう一人たることを感謝いたします。」（『小畑進著作集第6巻』いのちのことば社、304頁）



東京基督教大学



座談会●プロジェクト2030(竿代先生を囲んで)

# 神学教育における 超教派(協教派)の可能性

## 座談会出席者



山口 陽一

金沢大学、東京基督神学校、立教大学大学院(修士)。日本同盟基督教団教師。日本同盟基督教団徳丸町キリスト教会、日本基督教教団吾妻教会での牧会を経て04年より東京基督神学校校長、11年より東京基督教大学教授(日本キリスト教史、実践神学)・教会教職課程責任者・研究科委員長。18年より学長。



竿代 照夫

1941年千葉県船橋市生まれ。東京大学、インマヌエル聖宣神学院、インド・ユニオン聖書大学で学ぶ。79年、ケニアへ家族(妻と三人の子供)と共に宣教師として赴任。その間、シカゴのトリニティ神学校で宣教・牧会学博士号を取得。98年日本に戻りインマヌエル主都中央教会で牧会(現:中目黒教会)、17年3月インマヌエル新浜及び安食教会協力牧師となる。インマヌエル総合伝道団では2006~12年代表を務める。協教派的な働きでは第6回日本伝道会議実行委員長を務める。現在、新日本聖書刊行会理事長、日本聖化協会会長。



菊池 実

法政大学文学部史学科、東京基督教短期大学神学専攻科、エルサレム大学院大学(聖書歴史学)。日本同盟基督教団八千代聖書教会牧師。専門分野はパレスチナ考古学、歴史地理。16年より東京基督教大学神学科長、18年より教会教職課程責任者。



伊藤 明生

東京大学、東京基督神学校、英国オックスフォード、Wycliffe Hall(Ph.D.)。日本バプテスト教会連合市川北バプテスト教会所属。専門分野は新約聖書学、古文書学、新約聖書本文批評、パピルス学。18年より東京基督教大学大学院神学研究科委員長。

2018年10月31日創立記念礼拝と講演を行い、礼拝では大和昌平副学長・神学部部長が説教をし、講演ではインマヌエル綜合伝道団牧師で新聖書刊行会代表理事の竿代照夫先生が教会間協力について、また、その実践例としての「新改訳2017」の刊行についてお話しくださいました。そして同日午後には竿代先生を囲んで今後の神学教育における超教派(協教派)の可能性について座談会を行いました。TCUは、教派間の神学教育の協力関係のきっかけとして、若き牧師の育成プロジェクト2030というプロジェクトを提唱しはじめました(4ページ下段参照)。教会の後継者不足はいよいよ深刻化する中、この状況を教派間協力の機会と捉え直し、日本宣教のために賜物を生かす神の国が広がっていくことを願っています。竿代照夫先生は、ケニア宣教師、インマヌエル中目黒教会牧師、インマヌエル綜合伝道団の代表、神戸での第6回日本伝道会議実行委員長などを歴任する中で「協教派」という考えを提唱され、広い視野で日本宣教を考えておられます。今回は神学教育における教派間協力の可能性からTCUの今後のあり方についてまで幅広く語り合いました。

## TCUへの期待 ファーザースタディ(継続教育)

として

**山口** 今日午前前の講演会の中で、竿代先生が「協教派」という言葉を用いて教派間協力の必要性について語ってください、引き続き座談会を持たせていただけたことを感謝しています。私は日本同盟基督教団と日本基督教団で牧師をした背景を持ってTCU学長になりました。そこで、教派間協力の新しい展開として日本基督教団や神学校を独自に持っている教団からもより積極的に学生を迎え、TCUを経由して教派立神学校に進むように用いていただきたいと思います。教団教派にとっても若い献身者をどう育てるかが共通の課題ですので、多に用いていただきたいと思います。

**菊池** TCUにおける教会教職者養成は、2年次から3年次に進級する時に召命感を確認し、教会教職課程に進むかどうかを決めます。そのようにして、牧師としての召命が明確でなくても祈っている学生が入学できる場となっています。

す。最近では、高校生の段階で教会者への召しを確信する人は決して多くは無いかもしれませんが。

**竿代** それでは、彼ら高校生たちがTCUに入りたいと感じる魅力はどこにあるのでしょうか？

**伊藤** 毎年新生入生へのインタビューをしています。全員クリスチャンであること、聖書を学びたいという動機をもって入学する学生が多いですね。将来牧師としての召命感を明確にして1年次に入学してくる学生は少ないです。もちろん、3年次編入で教会教職課程に入学する学生は召命感をもっていることが条件になっています。一方で、寮生活をしたという学生は少ないですね。一人っ子なので寮生活がしたいという学生もいますが、それは珍しいですね。

**竿代** そのような受け皿はとても大切だと思えます。ただ、一方でこれは自分の体験でもありますが、一般の大学で教養を学びノックリスチャンの中でもまれて伝道し、その後に献身をして神学校に進むというルートも大切にしたいですね。

**山口** 私もそう思います。しかし、どち

らかではなく両方をめざしたいですね。

**竿代** そういう意味では、基礎教育をTCUで行い教派立の神学校に送るという流れとともに、一般大学から教派立神学校に入り基礎的な学びと訓練を受けて、その後のファーザースタディ(Weiter Study・継続教育)としてTCUで学ぶということも尊いことだと思えます。教派立神学校で各教派の強調点を学ぶことや基礎的な訓練も必要です。その後でより広い神学的な学び、より深い聖書の学びをする超教派・協教派的機関としてTCUがあると面白いと思います。ですから私はTCUの大学院にも注目しています。今までは、教派立の神学校で基礎的な訓練を経た後、聖書学や神学をさらに深めるために欧米で修士や博士の課程に進む人が多かったわけですが、しかし海外に行かずにTCUで学び学位を取得できるようになりました。そしてさらに言うならば、そのためには、最初から最後まで徹底した英語教育をしていただき英語で学位を取れるようにしてほしいですね。

**伊藤** 学部では英語で学ぶ留学生のコースがあり、博士課程でも英語で学位がとれるようになっていますが、修士課程ではまだできていません。色々な課題があり実現していませんが、今後の課題だと思っています。

**竿代** やはりファーザースタディをTCUでやるなら、TCUの大学院を英語の世界にしてしまっても良いと思います。日本人学生が自分の教派立神学校で訓練された後、そのような学校で学べるならさらに魅力的になると思います。

## より広く福音派教会に 仕えるために

**山口** 先ほど、竿代先生が教派のことはしっかり学んでほしいとおっしゃった点はとても大事な視点だと考えています。そういう観点から私たちがより幅広い受け皿となる場合に、どういうことが必要でしょうか。

**竿代** 召命感がはっきりしていない人の受け皿は必要だと思います。その中で、すでになされていると思いますが、送られてきた教会を重んじ、尊重する雰囲気や教育、そしてそこに返すという姿勢をより強調していただくと良いかと思えます。

**山口** 若い人たちには自分の属する教会や教派を批判的に見たり、他への憧れを持つことがあると思いますが、本学では所属する教会や教派を愛し、その伝統を大事にするよう指導しています。さらにできることはしていきたいと思えます。最近の取り組みとして、支援教団の牧師養成担当の先生方に来ていただいて懇談会を定期的に行っていますが、こうした対話と協力をしっかりしていきたいですね。

**竿代** 各教派の成り立ちや特長など広い視野で教会のピクチャーを教えるような機会はありますか？

**菊池** 私の演習のクラスでは、教団教派の神学的な違いを学生が調べてプレゼンする機会を持っています。それを通して自身の属する教団の神学的背景を相対化するのではなく、おっしゃるように幅広いピクチャーをもってもらいたいと願っています。

ます。TCUはキリスト教界・福音派全

体に超教派的に仕え、各教団教派に信

頼される学校でありたいと願っています。

竿代 福音派全体に仕えるという意味

では、「日本福音同盟(JEA)立」をめ

ざすというのを掲げてはどうでしょう。

私はインドでそのような学校で学びまし

た。クラスで議論を戦わせ、聖公会から

聖霊派までいろんな学生と議論しました。

広いベースを大学として持つとともに、J

E Aのような公の機関から認定される、

もつと言えばJEA立の大学になる。す

ぐにはできないことですが、それをめざ

すことが必要なのではないでしょうか。

山口 JEAが経済的なサポートをす

るということは現実的ではないでしょう

が、JEAに加盟する教団教派は全てT

ないでしょうか。

山口 私たちはJEA加盟団体の教団

それぞれにTCUを用いていただければ

と思いましたが、もう一歩踏み込んで

みたらどうかという強力なお勧めをいた

だいたことは感謝です。

菊池 ここ最近、各教団教派における超

教派的協力の必要性の認識はずいぶん

高まってきたと感じます。ただ、現実

的には具体化されるきっかけを見出すこ

とは難しく、従来のかたちにとどまるこ

とも少なくないのではないのでしょうか。

竿代 宣教戦略という観点では、二つ

の教会が地域に密着し、地域が一定のサ

イズと地力を持った教会の働きの影響を

受けるまでになることが大切だと思います。

そういう意味で私は日本伝道会議の準

備会合などで、「徒歩または自転車で行

ける教会に行こう」運動を提唱したこ

とがありました。地元教会があるのに、

遠くの所属教団の教会に通う人が多い

と思います。とても非効率ですよ。

ですからそのような言わば奇想天外なこ

とを提案した訳です。賛成してください

人はほとんどいませんでした。しかし、そ

れぐらい思い切った教会の整理統合をし

ないとキリスト教は日本の社会に浸透し

ないと思います。

山口 インマヌエル綜合伝道団では藤本

満先生も他の教派の教会との統廃合の

可能性を認め実行されたので驚きました。

午前中に竿代先生がご講演くださった「公

同の教会」の視点から地域教会を見た場

合、社会的状況で教会が閉じられ統合さ

れるということもただ否定的な面だけで

はなく、全体の教会が生きているという

視点から観なければいけないことを思わ

されました。この度は、非常にダイナミッ

クで貴重なお話しを聞かせていただきま

して本当にありがとうございます。

竿代 今後、TCUがアジアの神学教育

の拠点、そしてファーザーズタデイの拠点

となることを期待しています。ありがとうございます。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

## 若き牧師の育成プロジェクト2030

東京基督教大学は、神学部の下に神学科と国際キリスト教福祉学科、大学院神学研究科博士前・後期課程をもつ福音主義・超教派の大学で、キリストへの献身を志す若い200名ほどの学生がおり、うち70人が牧師をめざしており、さらに30人は英語で学ぶ留学生です。全寮制で家族寮をふくむ4寮があり、全員が主日の教会実習をしています。教員は専任24名(非常勤約50名)、職員23名も皆キリスト者です。ユース・ミニストリー副専攻を有し、高校生伝道のhi-b.a.とも協力して青少年伝道と若い伝道者の育成に努めています。現在13の支援団体※(個教会を除く)がありますが、それを遥かに超えて多くの教会から学生を迎えています。

教派立の神学校を有する諸団体においては、神学校入学者の減少と高齢化が見られます。高校卒業時に広い意味でクリスチャンとしての献身を考える若者を受け入れ、その献身の召命を励まし育てる「大学」が必要とされています。

ここに、本学が日本のプロテスタント諸教会に貢献させていただく余地があると考えます。すなわち、まだ牧師になる召命はないが、信徒としてキリストへの献身を志す高卒年齢の学生を迎え、召命を得たならば、それぞれの教団・教派立あるいは認定の神学校、大学院へと送り出すことです。少ない献身者の奪い合いではなく、励まし育てることが十分でなかった高卒年齢の献身志望者を見出し育てて行こうとするのが「若き牧師の育成プロジェクト2030」です。私たちの持ち味を生かし、日本宣教に貢献したい。2030年に向け、そのような

夢を抱いています。

### 若い献身者をTCUから教団・教派の神学校へ

日本のキリスト教界は少子高齢化社会の中で信徒と教職の高齢化、後継者不足の課題に直面しています。たとえば日本基督教団では「日本基督教団2030年問題」が語られています。2030年に信徒の3分の2が平均寿命を超える、つまり若い信徒の増加がなければ教会員が3分の1になるという危機的な予測です。日本基督教団は日本のプロテスタント教会の中心的な存在であり、これは程度の差こそあれ日本の教会全体の課題と言っても過言ではありません。これとの関連で牧師の高齢化も大きな課題で、2015年のキリスト新聞社のアンケート調査によるとプロテスタント教会の教職者の平均年齢は67.8歳です。

こうした中で、福音派の諸団体では青少年伝道に力を注いでおり、日本基督教団でも2018年3月に「リフォーユース500」を開催し、新たな青年伝道に着手しました。若い献身者を育てることは、どの教派・教団にとっても喫緊の課題です。

※カンバーランド長老キリスト教会、基督聖協団、聖書教会連盟、聖書キリスト教会、日本聖約キリスト教団、日本長老教会、日本同盟基督教団(Team)、日本バプテスト教会連合、日本福音キリスト教会連合、日本福音自由教会協議会、日本フリーメソジスト教団、日本メノナイト・キリスト教会会議、保守バプテスト同盟



# TCUが取り組む大学改革について

学長 山口 陽一

## 大学改革の経緯

本学は2020年度に創立30周年を迎えます。2015年4月1日教職員退修会で廣瀬理事長が「流れを変えることにチャレンジしよう」と提起し、「TCUがめざす夢10」を掲げて始まった大学改革の流れを、30周年を機によいよ具体的なものとしていきたいと願っています。ここに至るまでに「第二次神の国に仕えるプロジェクト」（「神プロ」として7つのチームに分かれて教職員協働で検討を重ねてきました。I群では「養成すべき人間像・ポリシー・学生募集」を扱い、2017年6月30日に「コンセプト」Stand in the Gap 破れ口にキリストの平和を」を大学として定めました。II群では寄付金募集にTCU支援会を取り組んでいます。III群では収支考察・IR（大学経営を支える調査・分析）を担っています。IV群ではキャンパス整備、V群では組織改編、教職協働・情報共有として学生支援の取り組みが進みました。VI群では資金運用、VII群では理事会の機能向上に取り組んでいます。

## 学科再編を検討

その中で、学園財務の収支の課題、教員免許課程検討、学生生活の多忙とメンタルケア、転科・転専攻や退学希望者への対応、神学科と国際キリスト教福祉学科の入学・定員充足率の不足と不均衡、教

員配置の不均衡などの課題について議論が進められてきました。そして、2018年度事業計画の最重要項目は、「Stand in the Gap 破れ口にキリストの平和を」（コンセプト）の理解と共有・教育と学生支援の改革立案と実行、教員免許課程（宗教）準備・資金の収支の改善に向けた施策の立案と実行」と定められました。

これに基づいて、学科再編教員免許課程（宗教）設置に焦点をあて、カリキュラム改革と教育・学生支援の議論を続け、カリキュラムのスリム化、教育と大学行政の負担軽減、学生の満足度向上により学生募集と定員充足をめざすための改革案を検討しています。

現在学部にある神学・国際キリスト教・キリスト教福祉学の学びをすべて生かしながら、教員免許課程（宗教）設置を含めた検討を行っています。教職と信徒の育成をめざす本学らしく、ユース・ミニストリーや霊的形成とも関連つけたキリスト教教育課程を設置することを考えたいと思います。

## 変わらないもの、変えるべきもの

クリスチャンコードや献身者教育、教会教職課程や介護福祉士養成課程、寮教育、英語のみで学位が取れることなどは変わりません。学生募集定員も変えず、むしろ定員増をめざします。全人格的な霊的形成のために教職協働で教育・学生

支援にあたり、教会教職への召命と信徒の召命を受け取って、神の国のさまざまなミニストリーを通して神と人に仕える人を育てます。

その上で、幾他の神学校、クリスチャン以外も学べる神学部、牧師養成のみの神学部・大学院のどれとも違う神学部 大学院をめざし、日本における神学のイメージと役割を刷新しつつ世界宣教に貢献します。建学の精神と信仰基準はそのままに、

支援団体の拡大と学生募集の幅を広げ、日本の8000の教会、とりわけ7000のプロテスタント教会、世界の協定校や教会から学生を迎え、継続教育においてもアジアの神学教育の一拠点となることをめざします。これにより本学を長く維持・発展させてゆくことを図ります。乗り越えざるべき多くの課題がございますが、着実に大学改革を進めて参りたいと願っています。皆様におきましては、より一層のご加勢とご支援を賜りたくお願い申し上げます。

## TCUのめざす夢10

「関わる皆に神様の祝福を取り次ぐ喜びを共にするTCU」  
（創世記12章3節b、ペテロ第一3章8-9節）

- 1 **【教職員】**  
教職員は、建学の精神に立ってTCUで働くことに感謝と喜びをもって生き活きと仕事を  
する。  
（コロサイ3章11節b、テサロニテ第二5章16-18節）
- 2 「神の国に仕えるプロジェクト」に教職協働で取り組み、向上し続けるTCUを次世代に  
継承する。  
（ペテロ第二2章9節、詩篇78篇6-8節）
- 3 **【学生・保護者・卒業生】**  
学生は在学中に霊的・知的・精神的・生活的全方面で、全人格的に見違えるように成長  
する。  
（エペソ4章13-15節）
- 4 召命に応じて献身した卒業生は、聖書のキリスト教世界観に立って神の国を造る器とし  
て活躍する。  
（マルコ1章15節）
- 5 **【青少年・社会人】**  
神の国の最善の働き人を育成する大学として、多くの青少年と社人が目標とする進路  
となる。  
（ルカ9章23節）
- 6 キリスト教主義学校やチャータースクールは、TCUの協力により生徒への伝道が進む。  
（マルコ10章14節）
- 7 **【教会への貢献】**  
卒業生が仕える教会は福音の包括的な力を現し、地域の祝福の拠点となり、青少年が  
大勢集まる。  
（マタイ9章35節、創世記1章28節、伝道者12章1節）
- 8 研究と教育が信頼と尊敬を得、各神学分野の貢献と信徒教育が、全キリスト教界を活  
性化する。  
（マタイ28章19-20節）
- 9 **【支援会・キャンパス・地域と社会への貢献】**  
TCU支援会が全県及び海外に展開し、支援者に喜びと深い満足をもたらす。  
（ピリピ4章17節）
- 10 神学と宣教と教会音楽の聖地としてTCUは魂の巡礼先となり、地域への宣教も進む。  
（創世記28章17節b、コリント第二14章25節）

# 報告

今年の夏も国内外でさまざまな課外活動・実習プログラムが実施されました。教室での学びを実践し、新たな課題を発見し、持ち帰ってさらに学びを深める大変貴重な経験をしました。また、この夏は自然災害が多く、岡山に行った夏期伝道チームは急きょ西日本豪雨被害の復興支援活動に加わり、その後さらにボランティアセンターから学生のチームが派遣され活動をしました。

## 異文化実習

### はじめてのフィリピン

国際キリスト教学専攻3年  
大田 イサク

今回私は7月から8月にかけての約一ヶ月間、異文化実習でフィリピンに滞在しました。F.H.フィリピン(国際飢餓対策機構フィリピン)の活動をお手伝いしながら、異文化を肌で感じ学んだ一ヶ月でした。

F.H.フィリピンが行っている子ども会のお手伝いや事務作業のお手伝い、家庭訪問やホームステイなど盛りだくさんの一ヶ月でした。

今回の実習はフィリピンの人々の温かさを感じた二ヶ月となりました。貧しい生活の中にありながら、見ず知らずの私たち日本人を迎え入れ手厚くもてなしてくださるフィリピンの方々の姿に胸を打たれました。今回の実習に参加するまで、私はフィリピンに対して「貧しい国」というイメージを持っていましたが、彼らとともに生活し時間を共有する中で、彼らの内面の魅力や貧しい中で生きていく力強さも知ることができました。外国人として彼らと関わるのではなく、隣人として彼ら愛するということの大切さに気付かされた一ヶ月間でした。



## 介護実習

### 待つ、聞く姿勢の大切さ

キリスト教福祉学専攻3年  
小此内 寧々

この夏の介護実習では、特に介護過程の展開を通して多くのことを学びました。私は受け持ち利用者様の情報を早く集めたいがために焦り、じつくりと向こうから話してくださるのを「待つ」、また「聞く」という姿勢がありませんでした。ですから、実習の前半では相手の表面的なところしか分からず、本当のニーズを見つけることができませんでした。

実習指導者から助言を受けて、情報収集の仕方を変えました。沈黙を恐れず、向こうから話してくれるのを待ち、聞く姿勢を意識しました。すると、利用者様の方から、苦しいことや、施設生活の中で辛いと感じること等を話してくださいました。

これはただ単に「テクニック」ではありません。勿論技術も必要ですが、相手を思う気持ちや技術よりも重要だと思いました。愛がなければ、無に等しい。自分の愛の無さに落ち込むこともありましたが、これからの自身の課題も見つけることができた実りある実習でした。



実習先:障害者支援施設 誠光園



介護実習報告会での様子

# 夏の活動

ユースミニストリー

## ユースミニストリー 実習

神学科教会教職専攻4年

久島 真人

8月2日から15日の約二週間、松原湖と福音自由全国キャンプでは中学生のカウンセラーとして、浜名湖では高校生のカウンセラーとして実習してきました。

キャンプで出会った彼らは、それぞれにとっても大きな目標を持っていました。しかしそれは、すぐにダッシュすれば届くものではなく、一歩ずつ前進すれば、少しずつつかもしいれないけど近づいていくものです。「その一歩を踏み出す決断を励ましていくことの大切さ」を今回の実習では学びました。彼らは理想の自分にたどり着くうとがき、時に苦しみ、それでも進もうとしています。まだよく分からないけど、一歩を踏み出そう。と、あえず進もう。とする子もいます。そんな彼らの心底の声をしっかりと受け止め、彼らのその挑戦を応援してあげようと思います。時には、戒め・教えることも大切にしながら、これからはユースと関わっていききたいと思われた実習でした。



大学院インターン

## 夏期教会実習の恵み

大学院修士課程神学専攻科1年

狩野 正敏

7月29日から8月19日の三週間、私は埼玉県さいたま市にある片柳福音自由教会にて、滝田新二牧師のご指導の下、夏期教会実習を行いました。印象に残ったことを三点報告いたします。①CSキャンプ：子供12人に対しスタッフ10人でマンツーマン対応が可能でした。スタッフは子供たちのことをよく知っているだけでなく、子供たちの家族のこともよく知っており、教会が神の家族であることを実感しました。②説教：説教を三回担当しました。滝田先生には原稿を見ていただいただけでなく、実際に語る時に気をつけるべきことを具体的にご指導いただきました。教会員の皆様が説教の内容について語りあっている様子を拝見し、責任の重大さを痛感しました。③牧会訪問：入院されている方や高齢者施設に入居されている方の訪問に同行しました。滝田先生がそれぞれの方のご事情を子細に把握されたうえで、祈っておられる姿に感銘を受けました。



教会音楽

九州  
チャペルコンサートでの  
恵み

教会音楽専攻科(ピアノ専攻)  
岡本 真緒

私は、父の出身地で親族が多く住む九州の教会と交わりを持ち、クリスチャンでない親族にも来てもらえるようなチャペルコンサートを開くため、福岡福音自由教会にお世話になりました。5月から教会と連絡を取り準備と練習を進め、9月1日(土)にヴァイオリニストの友人と九州へ向かいリハーサルをし、翌日2日(日)、朝の礼拝で証と特別賛美、午後にコンサートというスケジュールでした。

コンサートは教会員の方を中心に30名程のお客様が与えられ、私の親族も7人来てくれました。普段生演奏を聴く機会がない方も多く、とても喜んでいただくことができました。

私はピアニストとしての経験が豊富なわけではないので、準備を進める中で自信を失うこともありましたが、神様がそんな私にも、音楽を通して愛を届けるべき人を与えて下さっているのは本当に感謝なことです。またこれまで以上に九州が好きになり、もっと九州のために祈ろうと思わされた時間でした。



ボランティア

西日本豪雨被災地  
ボランティア

TCUボランティアセンター  
国際キリスト教学専攻3年  
遠田 ゆりな

私は、TCUボランティアセンターのメンバーとして、また一人のキリスト者として、一人の人間として、「災害」が起きたときにどうすればよいのか、どう関わっていけばよいのかを考えさせられ続けています。

夏に西日本豪雨災害が起きた直後に、岡山で夏期伝道が行われました。その時に一人のメンバーを通して、岡山の牧師先生と話すことができ、ボランティアに行くことが決まりました。

現地に到着すると、人の住んでいない建物、水で押し流された家財・瓦礫が積み重なっている山、水素爆発により真っ黒になった工場などといった、多くの被害の光景を目にする中で、空虚感を覚えました。この地域全体が多く、この傷を受けていることを感じました。緊急支援から建物の復旧へと変わる中、自分はどうのように「関わって(助け合つて)」「いけるのかを問われ、その深い傷を思いめぐらしながら真剣に祈るようになりました。これからも心から祈り続けたいと思っています。







今年も多くの方々にご支援いただき、日本各地13教会に夏期伝道チームを派遣することができました。マタイ5章16節のみことばから「Christmas Familyキリスト映え〜」というテーマを掲げ、遣わされた地でキリストの光を映す者とされたいと願って始まった今年の夏期伝道でした。伝道の困難な地域や豪雨の影響、私たちの足りなさなど多くの面でチャレンジがありました。神様が全てを時にかなづけて良きに導いてくださったことに感謝しています。

10日間という期間で私たちが達成できたことは少ないかもしれませんが、この夏、一人一人を通して映されたキリストの光は確かに輝き、その光が人から人へ、町から町へ映されていくことを信じています。皆様のご支援を心より感謝いたします。

「このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせなさい。人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようになるためです。」(マタイ5章16節)

夏期伝道

2018年度夏期伝道報告

2018年度夏期伝道委員会委員長  
大学院修士課程神学研究科1年

曾川 宣基



9月1日にお茶の水クリスチャンセンターにて開かれた「<sup>※1</sup>ありがと音頭フェスティバル」で「ありがと音頭健康体操」を披露させていただきました。この体操はTCU非常勤講師の岩渕まこと先生が東日本大震災被災地での支援活動の中で作られた「ありがと音頭」という曲に、主に福祉専攻生たちが中心のチームで考案した健康体操です。「自然と笑顔に、そして楽しく誰でも簡単にできる」をコンセプトに振り付けを考えました。来場者からは、教会やクリスチャンが経営している福祉施設などに取り入れたいと声をいただき、心から感謝しています。そして、この体操の動画がTCUのYouTubeチャンネルにアップされましたので、ぜひ教会や幼稚園、保育園、そして福祉施設でお使いいただけたら感謝です。昨今、日本では災害が多発しています。授業で「震災が起きて一時避難中にストレスが溜まり認知症が急激に進行する」と学びました。この体操がそのストレスを改善するために役立つものとなればと願っています。

ありがと音頭

ありがと音頭  
フェスティバル報告

TCUありがと音頭振り付け委員会  
キリスト教福祉学専攻3年

立場川 悠太



※1  
「ありがと音頭フェスティバル」とは、TCU非常勤講師でシンガーソングライターの岩渕まこと氏が主宰する東日本大震災の復興支援活動「LOVE EAST」が開催した復興支援イベント。

ありがと音頭健康体操のYouTube映像はこちらから

<https://youtu.be/GYAX6yIj1j4>



## 福祉

### 介護福祉士実務者研修(KJK)報告

教務課職員 川元 久美

今年度から一般社団法人KJKのシステムを利用した「介護福祉士実務者研修」が始まりました。私は研修の準備を担当しただけではなく、受講もさせていただきました。この研修はWeb通信教育と7日間のスクーリングで行います。実務経験者が介護福祉士を受験する際の修了要件となっている研修で(介護未経験者も受講OK)、昨秋から近隣福祉施設への訪問、近隣の福祉施設や教会にパンフレットを郵送するなどPRをしました。

初年度は2回開講、4月生6名(内学内5名)、5月生2名スタートとなりました。分厚いテキストを読んでWebのドリルを回答し、認定試験を受けます。合格するまで何度でもやり直せるので「落ちたらどうしよう」というスリルはありません(笑)。

夏休みは毎週のようにスクーリングがあり、介護の基本と介護過程、喀痰吸引などの医療的ケアの実技を学びました。介護職員の受講生がおられたので、現場を知らない者にとっては貴重な学びの時間でした。次年度はさらに地域に用いられることを願っています。



## 教会音楽

### 夏期教会音楽講習会の恵み

教会音楽アカデミー講習会部門長 内藤 真奈

今年も酷暑となった7月19日(木)～21日(土)に、初の試みとして第47回夏期教会音楽講習会と第1回実践神学講習会を同時開催いたしました。教会音楽講習会は「キリスト教葬儀と音楽」というテーマで行い、57名の参加者が与えられました。二つの会が一部タイアップした合同プログラムでは、講師、スタッフを入れて70名以上となり、多くの教職者の方々の良き学びと交流の時となりました。

今回、3名の音楽奉仕者の参加費用を全額サポートして送り出してくださった教会があります。教会に帰られてから、参加することができなかった奉仕者にも恵みを分かち合い、お互いの成長に繋がっているとの事でした。それぞれの教会に事情があるとはいえ、奉仕者を育成することに教会として力を注いでおられることに、改めて襟を正される思いがいたします。



## 実践神学

### 「日本宣教におけるキリスト教葬儀」

— 未信者に開かれたキリスト教葬制文化を目指して —

国際宣教センター日本宣教リサーチ 柴田 初男

「日本宣教におけるキリスト教葬儀」-未信者に開かれたキリスト教葬制文化を目指して-をテーマとした「第一回実践神学講習会」が、7月19～21日、TCU国際宣教センター(FCC)にて開催されました。主催した「キリスト教葬儀研究会」では、この度3年間に渡る研究の成果を『FCC ブックレット』としてまとめ出版しましたが、それらの論文をもとに、執筆者である大和昌平TCU副学長兼神学部長、稲垣久和大学院教授、倉沢正則FCC所長、柴田初男FCC日本宣教リサーチ研究員、篠原基章准教授、清野勝男子日本同盟基督教団・土浦めぐみ教会主任牧師、野田和裕ライフワークス社社長の7名が、それぞれ講習会のセミナー講師として講演を行いました。参加者は、教職者や教会役員等、全国から20名が参加しました。受講者からは、「充実したプログラムで神学的なことから葬儀の具体的なことまで幅広く扱われ、全体的なことがわかり良かった。」等の声があげられています。



岩田三枝子准教授の著作

評伝 賀川ハル

— 賀川豊彦とともに、人々とともに —

本学の岩田三枝子准教授(国際キリスト教学専攻長)の著作が刊行されました。本書は、日本のキリスト者・社会事業家として知られる賀川豊彦の妻・賀川ハルについて、一次史料に遡りながら、その生涯、信仰、女性としての生き方、社会との関わりなどを今日の市民社会論の視座から詳論した、先生の博士学位論文をもとにした労作です。

賀川豊彦は、宣教、労働・協同組合運動、平和運動などを通して戦前・戦後の日本社会に大きな足跡を残しました。ハルはそうした豊彦の活動をいわゆる内助の功として支えただけでなく、スラムの救貧を皮切りとする活動の同労者として実質的に切り盛りした他、自らも覚醒婦人協会を通して労働者階級の女性たちの向上のために活動し、豊彦召天後は雲柱社理事長として福祉事業を中心とした事業を継承・発展させています。

本書は、こうした賀川ハルの本格的な研究書としては嚆矢となるものであり、今日の女性の生き方について、そしてキリスト教と社会の関わりについて、多くの示唆を与えてくれることと思います。ぜひご一読を。(職員 高橋伸幸)



不二出版、2018年9月刊行  
A5判・604頁、5,800円+税  
2017年度  
公益法人賀川事業団雲柱社  
第二回出版助成を受けて刊行

書籍案内

山口陽一学長、卒業生、在学生も執筆

神への従順と  
キリスト者への  
抵抗権



信州夏期宣教講座発行19冊目の書籍です。同講座は、1993年より毎年8月末に行われ今年で26回目だそうです。

本書には、2016年同講座でなされた四名の講演と中学生のスピーチが収録されています。小冊子ですが、ロマ書十三章の積義・ボンヘフファーの思想・日本の教会の歩みから、神の主権と国家との問題を整理し、キリスト者にとって抵抗権とは何かを明らかにしています。今日の教会が信仰告白の危機にないか、現政府の政策をよく識別し神への従順のためにどう考え行動するか良い考察を示す書です。戦時下、自らの信仰ゆえに治安維持法違反により投獄された市井の信徒「寺尾喜七」の掘り起し、高校時代より平和を考え国会前での祈りやデモを通して行動と思索を深めた現大学生の講演、ヘイトスピーチに対して「差別をやめて、共に生きよう」との中学生のスピーチは、生みの「証し」として鮮明で、混迷の現代に抗う灯として読者の心に炎を点します。

当大学から山口学長、卒業生の野寺博文先生、大学4年桑島さんが執筆に加わっています。是非お読みください。

(職員 阿部伊作)

海外協定校

新しい海外協定校

ジョージ・フォックス大学 (George Fox University) アメリカ合衆国オレゴン州



ジョージ・フォックス大学は3,000人以上が通う自由な雰囲気のある大学です。1891年にプロテスタントの一つであるクエーカー教徒により設立されました。TCUとは短期留学生の受け入れについて協定を締結しました。

クワイアが賛美

イオンモールの

クリスマスツリー点灯式でクワイアが賛美

イオンモール千葉ニュータウンのクリスマスツリー点灯式で、初めてTCUクワイアが賛美をしました。「諸人こそぞりて」、「さやかに星はきらめき」などクリスマス賛美を4曲、アンコールを1曲賛美し、曲の間には学生がみことばを織り交ぜながら曲紹介をしました。

秋学期スタート

今年もACTS-ES秋入学生と短期留学生が加わりました



ACTS-ES同窓会主催のバーベキューパーティーがキャンパス内で開かれ、新入生を歓迎するとともに、卒業生家族の交わりの時をもちました。

今年も神学科ACTS-ES新入生7名が7か国から、短期留学生12名が米国から新たに加わり秋学期がスタートしました。

また、9月24日には、



# 卒業生インタビュー

## キリスト教福祉学専攻開設10周年記念 卒業生インタビュー Part-3

2008年にキリスト教福祉学専攻を開設して2018年で10周年を迎えましたので、今年度の卒業生インタビューは同専攻卒業生を特集しています。

第三弾は2013年同専攻卒業生の**大久保光世**（おおくぼ・みつよ）さんです。（写真中央）

現在、滋賀県にある知能に重い障がいがある方々と共に暮らす止揚学園で働いています。同学園には、大久保さんの他に、清水ゆり香さん（2010年神学科卒・左）と湯本愛菜さん（2018年国際キリスト教学専攻卒・右）も働いています。現地にお邪魔してお話しをお聞きしました。



### 現在の仕事について教えてください。

止揚学園の三本柱として洗濯、炊事、排泄便というものがあり、私はその中で炊事を担当しています。毎日朝昼晩の食事を作っていて、「今日のご飯おいしそうやなあ」って笑顔を出してくれるとこちらも元気が出ます。作る過程も見えますし、においも感じますのでお家と一緒にです。毎日がすごく楽しいですね。お客様が来られる機会もたくさんあって、止揚学園のことを思って定期的に来てくださることはとてもありがたいです。また、地域の方や家族の方が野菜を持ってきてくれることもよくあります。

### 止揚学園で働いている中でやりがいを感じる場所はどんなところですか？

私はトオルさんという方とテーブルを囲むことが多いのですが、最近入退院を繰り返し替えていて、入院している時は点滴で栄養を摂っています。退院後はゼリーから始めて徐々に学園のご飯を食べるようになったらトオルさんの表情がどんどん生き生きしてきました。病院の先生は点滴だけでも一日分のカロリーを摂れているから大丈夫と言っていたのですが、トオルさんのうれしそうなお顔を見たら人間に必要なのはカロリーだけではないんだなと思いました。いつものみんなと一緒にいつもの場所で食べるのは本当にいいですね。

### TCUの学びが活かされていることはありますか？

止揚学園はキリスト教の施設で、礼拝をとっても大事にしています。TCUでも聖書や信仰を土台にしていたので、その環境に自然と入ることができました。学園の仲間が朝はお祈りしてくれますが、自分ではなく周りの人のことを祈ってくれます。すごく力を与えられ、信仰を強められるような気がします。

また、「人間の尊厳」の授業が印象に残っています。私たちから見たら困るなっていう行動があるときに、どうしてそういう行動をするのかと立ち止まって考えることが大事だと学びました。その行動をやめさせるのではなく、意味があると考えます。例えば止揚学園でもこんなことがありました。物をたたいたりする人がいて、割れないプラスチックの食器にしてはどうかとみんなで話し合ったのですが、結局、みんなで関わりながら、「不安なのか」「何かあったのかな」と、考えて支えるようにしました。するとその方はそういう行動を起こさなくなりました。

### これからのTCU福祉学専攻に期待することは？

TCUの強みである、みんなクリスチャンで信仰を持って学べること、信仰を土台に福祉を学ぶことを大切にしてほしいなと思います。



# 支援会ニュース

TCU支援会 / 〒270-1347 千葉県印西市内野三丁目301-5  
TEL:0476-46-1131 ● FAX:0476-46-1405 ● E-mail tcu@tci.ac.jp

今年度も各地区で  
学園デーやTCUのつどいが  
開かれています。

6月24日岡山地区、8月12日山形地区(発足)、  
9月16日～17日北海道地区、福岡・山口地区、  
10月13日三遠南信地区、10月21日山梨地区、  
四国地区、静岡地区の様子を写真でお伝えします。

8/12・山形地区



支援会

9/16-17・福岡・山口地区



10/21・山梨地区



学園デー

6/24・岡山地区



9/16-17・北海道地区



10/13・三遠南信地区



10/21・四国地区



10/21・静岡地区



## 寄付金控除のご案内

本学の「明日の世界宣教者育成募金」への寄付金(献金)は、税制優遇措置の対象となり、所得税の寄付金控除と個人住民税の控除を受けることができ、献金額の最大50%が控除されます。

### 所得税の寄付金控除

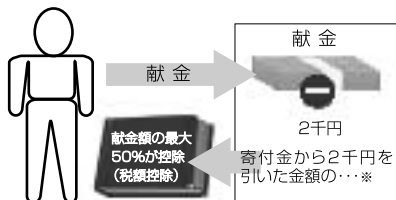
所得税の寄付金控除は、「所得控除」か「税額控除」のどちらかをお選びできます。

### 所得控除(従来の制度)

献金額(所得の40%が限度)-2千円を所得から控除

### 税額控除(新制度)

[献金額(所得の40%が限度)-2千円]×40%を所得税額から控除(所得税額の25%が限度)



※最大50%の控除は、千葉県印西市にお住まいの場合です。(税額控除40%+千葉県指定県民税控除4%+印西市指定市民税控除6%)

税額控除は、すべての寄付先への制度ではなく、東京キリスト教学園がその寄付先として認可を受けています。税制優遇の幅は、大学への寄付金に関して現行制度上で最も手厚くなっておりますので、ぜひご利用ください。

ご不明の点等、お住まいの市区町村役場または本学募金係まで、お気軽なお尋ねください。



### 便利な定期献金のご案内

#### ●Web(随時・定期献金)設定金額1,000円~

TCUウェブサイトの「寄付金(献金)/TCU支援会」→右「Web寄付(献金)」にお進みください。VISA、Master、JCB、AMEX、Diners対応のカード引落しによるものです。

#### ●郵便局自動引落(定期献金)月々500円~

お持ちの郵便局普通口座から毎月自動でお引落するものです。郵便局で「自動払込利用申込書」を下記のようにご記入、お申込ください。お申込には口座の登録印が必要です。

#### 【自動払込利用専用】

払込先:TCU支援会、口座00110-3-79801、払込開始月:約1ヵ月後からの月、払込日:毎月25日、種別:33会費、備考欄に「毎月のお払込金〇〇〇〇円」をご記入ください。

## 『明日の世界宣教者育成募金』の感謝報告

2018年度(2018年4月~2019年3月)の『明日の世界宣教者育成募金』は、10月末までに778の支援者より、3,027万円のご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。

TCU支援の輪を広げるために友人・知人にもご入会をお勧めいただければと願っています。新規、継続のご支援をよろしくお願い致します。

## 献金感謝報告

尊いご献金ご加禱、ご協力に、心から感謝と御礼を申し上げます。ここに2018年6月1日から9月30日までの献金者のご芳名を感謝をもって報告致します。

(敬称略)

### 大学献金

DONGSAN CHURCH / OMFザ・チャペル  
 オフ・ブライテン / ONNURI COMMUNITY CHURCH / 足立キリスト教会 / 安城中  
 央キリスト教会 / 五十嵐キリスト教会 / 生駒  
 めぐみ教会 / 和泉福音教会 / 市川北バプテ  
 スト教会 / 市川福音キリスト教会 / 稲城聖書教  
 会 / 磐田キリスト教会 / 牛久福音キリスト教  
 会 / 浦和福音自由教会 / 大野キリスト教会 /  
 奥多摩バイブルシャレー / 桶川福音自由教会  
 / 交野キリスト教会 / 片柳福音自由教会 / 勝  
 田台教会 / 金沢中央教会 / 株式会社永明  
 株式会社清水商会 / 株式会社創世ライフワ  
 クス社 / 株式会社ノア / 上大岡聖書教会 / 神  
 の家族主イエスキリストの教会 / 軽井沢キ  
 リスト教会 / 川越福音自由教会 / 岸和田聖書教  
 会 / 北九州復興教会 / 北新潟キリスト教会 /  
 衣笠中央キリスト教会 / 岐阜キリスト教会 /  
 希望が丘教会 / 希望が丘教会教育部 / 九州伝  
 道会 / 京都聖書教会紫苑の会 / 清瀬グレース  
 チャペル / 清瀬福音自由教会 / 久喜福音自由  
 教会 / 国立キリスト教会 / クライストミニ  
 ニティ / クライストミニニティ東神戸リバイ  
 バルチャペル / グリーンヒル福音教会 / 久里  
 浜福音教会 / 久留米聖書教会 / 高知喜びキ  
 リスト教会 / 国分寺バプテスト教会 / 札幌希望  
 の丘教会 / 佐渡金井キリスト教会 / 三陽メ  
 ディア株式会社 / 椎名町教会 / 静岡サミル聖書教  
 会 / 静岡めぐみ教会 / 子母口キリスト教会 /  
 下馬福音教会 / 自由ヶ丘めぐみ教会 / 招待キ  
 リスト教会 / 沼南キリスト教会 / 湘南ライフ  
 タウンキリスト教会 / 新鎌ヶ谷聖書教会 / 新  
 札幌聖書教会 / 新松戸福音自由教会 / 菅生キ  
 リスト教会 / 杉並教会 / ゼ・エバンゼリカル  
 アライアンス・ミッション / 世田谷中央教会 /

宣教教会 / 草加福音自由教会 / 高田ファミリ  
 チャペル / 高槻福音自由教会 / 高松キリス  
 ト教会 / 高松シオン教会 / 玉川上水キリス  
 ト教会 / たまプラーザキリスト教会 / 千葉  
 テルキリスト教会 / 都賀キリスト教会 / 津田沼  
 教会 / 東京国際基督教教会 / 東御キリス  
 ト教会 / 同盟福音キリスト教会福祉の集い / 東林聖書  
 キリスト教会 / 所沢聖書教会 / 豊川中央キ  
 リスト教会 / 豊橋ホサナキリスト教会 / 名古屋  
 福音自由教会 / 奈良福音自由教会 / 新潟福音  
 教会 / 新潟福音キリスト教会 / 二宮山西キ  
 リスト教会 / 日本長老教会 / 日本長老教会神奈  
 川中会 / 日本長老教会大会総務委員会 / 日本  
 同盟基督教団 / のびどめキリスト教会 / 波崎  
 キリスト教会 / 蓮沼キリスト教会 / 鳩ヶ谷福  
 音自由教会 / 浜田山キリスト教会 / 東吾野キ  
 リスト教会 / 東久留米泉教会 / 東戸塚キリス  
 ト教会 / 東大和刈穂キリスト教会 / 日立福音  
 キリスト教会 / 広島福音自由教会 / 福岡山  
 口地区学園デー / 福岡めぐみ教会 / 布佐キ  
 リスト教会 / 仏子キリスト教会 / 府中西原キ  
 リスト教会 / 平和台恵教会 / 蛭池聖書教会 / 北  
 海道地区TCUのつどい / 本郷台キリスト教  
 会 / 町田・相模原三教会合同研修会 / 松原聖  
 書教会 / 馬堀聖書教会 / 丸亀聖書教会 / 南柏  
 聖書教会 / 宮古バプテスト教会 / めぐみ教会  
 / 八街福音キリスト教会 / 八千代聖書教会 /  
 大和郡山めぐみ教会 / 有限会社友愛書房 / ゆ  
 りのきキリスト教会 / 横浜キリスト福音教会  
 / 横浜シオンキリスト教会 / 横浜白山道教会  
 / Mikang. Clovis Mehinai / Oko. Mehi-  
 ra Bushuru Maraka / 徐有珍 / 尹英卓 / 青  
 木俊介 / 青木稔 / 庭子 / 赤江弘之 / 昭代 / 赤坂  
 啓子 / 朝岡満喜子 / 朝岡勝 / 浅野献 / 足立  
 雄飛 / 真美 / 阿部伊作 / 阿部大 / 美歌 / 阿閉大  
 也 / 荒井創 / 安藤千恵 / 安藤博之 / 李京爽 /  
 飯田美枝子 / 飯塚弘道 / 生亀俊一 / 美代子 / 池  
 上王士 / 桃子 / 池田アイ / 石井由紀 / 石塚隆  
 二 / 石原美智子 / 石山敏子 / 匿名 / 伊藤天雄  
 / 伊藤ふさ江 / 伊東献仁 / 稲垣久和 / 井上和  
 夫 / 米子 / 井上聡 / 直子 / 井上人美 / 井上志乃  
 / 井上慎治 / 井上智彦 / 井上正彦 / 井上洋治 /  
 由枝 / 今井夫 / 今田和子 / 入江仰 / 入江喜  
 久雄 / 直美 / 岩田順也 / 岩田三枝子 / 岩間秀

彬／上野優佳子／上原朋子／鶴崎創／臼井信博／内野雅之・楢子／宇内千晴／瓜生正彦／遠藤潔・禎子／及川ゆかり／大久保宣満／大倉実／大下由利子／大島久子／大嶋義隆／大杉至／太田雅恵／大高市子／大橋秀夫／大村祐美／大森幹夫／岡田美子／緒方慎八／岡田雄／岡村又男・末子／岡森雅浩・ゆかり／奥山礼子／長下部昇／小笹崇代／小澤紘一／才三／鬼塚弘通・啓子／小野幸信／小畑信吾／小町継太／小町誠一／影山範文／片岡政子／加藤恵子／加藤富男／加藤美千代／金岡大二郎／金子裕／鎌田早苗／河合芦男・様遺言執行者／宮秋道男／川崎晴美／川島敬子／川島正子／川元久美／神田結実子／菅野綾／菅野淳一／菊池美／菊池良一・真恵美／岸幸恵／木下幸治／木下トウ／金和弘／宮本奈緒子／クック・デイビッド／倉沢正則・多実子／倉持裕子／黒川知文／匿名／桑島伸一・美帆／桑原淑行／小池宏明・紀子／国府田祝子／國分正子／小暮与作・道子／小崎啓子／越石利明／五嶋峰子／児玉光・照恵／後藤弘／小林清／小林充尚・壽子／小林規子／小林宮子／小宮隆雄／匿名／小山望／近藤美智子／斎藤和己／斎藤潔・ますみ／崎山清／佐久間章／佐久間謙介／櫻井菊子／笹川雅弘／佐々木泰士／佐々木秀子／佐竹十喜雄／佐藤孝郎／佐藤隆之・亜紀／佐中久美子／佐野慶・由美子／佐山薫子／沢谷千代子／塩見治子／信太紀一／篠原基章／柴田初男／渋谷和之／島田務・弥生／島田治夫／清水尚子／下部文孝／莊司明／田郷安／白倉まり子／菅沼威／菅原好江／鈴木くるみ／薄佳志子／鈴木七絵／鈴木二美代／鈴木政則／鈴木美絵／鈴木洋子／ステパノ・フランクリン／関野祐一／千田由美／仙浩一／高取直子／高橋奈々美／高橋篤／高橋信希・千尋／高橋伸幸／高橋道子／高橋めぐみ／宝崎町子／高力弘一郎・千鶴子／滝澤学／竹内豊志／竹本喜代子／多胡真太郎／建部玲子／立山剛・裕子／田中夢子／田中恭子／谷合志津子／田淵健二郎・恵子／匿名／田村勉／千葉健太郎／全皓燮／塚田真理子／辻智恵／匿名／辻本文子／坪台芳和／東畑意津子／時田敏彦／徳梅陽介／匿名／匿名／富岡昇／富澤歌子／外山節子／豊島集司／内藤真奈／長石寛

中尾芳也・啓代／中川洋佑・麻祐／中島伸一／中島誠／長友信子／中西純子／中野覚／永野則之／長橋和彦／永山治／中山良男／並木公子／並木孝之／南村かおり／西梅慎太郎／西村敬憲・麻利子／西山幸子／西山聖子／根本信子／根岸幸加／根城昌美／野口隆英／野島TOSUO・聖美／野本恒雄／萩原和子／蓮井智子／蓮尾英二／長谷部秀英／畑和雄／馬場千晶／早川佳枝／早見友雄・美江／原千春／原豊人／原裕昭・みはる／原田明美／原田五月／比嘉惠美子／東中喜彦／日名信介／平井紀子／平川俊光・江美／平川光宣・えり子／平田卓也／平塚治樹／平塚幽香子／平野武男・登美子／平野雅子／平原まさこ／廣瀬薫・美穂子／廣田具之・洋子／福井誠／福迫徹也／福田聖志／福原絹子／藤田正・藤田直樹／藤原真規子／藤原美佐子／藤原導夫・智子／古川弘幸／古林正語／白まゆみ／面鼻・あさの／星山正一・英子／細田浩／本間郷一／堀内幸二郎／本多英昭／本間那・本間恵子／綾馬信義／前田倫男／牧野理恵／マクトエル・子／増淵正恵／増山毅／松田信一／松永優・順子／松原正幸／丸山敏・裕子／丸山園子／圓山友子／万城栄治・久美／万城紘一・啓子／三浦政彦／三川克己／三川京子／水野時子／溝口昌樹／宮川活夫／三宅章之／宮崎彌男・淳子／宮原孝夫・淑恵／宮原尚美／宮本あゆみ／宮本京子／宮脇星児・栄子／向後孝美／虫明英雄／匿名／虫明令子／毛利佐保／森明夫・律子／森恵子／守川初穂／森田和子／森田哲也／森田友朗／森本文子／森本祥子／森本信幸・麻子／森本英利・好恵／森山洋子／矢田世葉根／柳沢美和子／柳下弘／数田三保子／山内慎也・史奈／山岡勝次／山口尚美／山口陽一／山口輝子／大和昌平／山本和美／山本和義／横山清行・留美子／吉田雅尚／吉田満知子／吉永あや子／吉持章／吉持日輪生／李相勇／劉芽久美／和気敏治／和田一郎・栄子

大学院献金

いかるが聖書教会／枝川愛の教会／子母口キリスト教会／杉戸キリスト教会／津豊ヶ丘キリスト教会／東京国際基督教会／東大宮福音自由教会／みことば福音教会／恵みパプテス

ト教会／盛岡みなみ教会／阿久津康彦／荒井創／新井竜治／伊藤天雄／井上慎治／入江仰／岩田順也／岩田三枝子／上原朋子／鶴崎創／宇内千晴／遠藤潔・禎子／緒方慎八／岡村又男・末子／川島敬子／神田結実子／菅野淳一・綾／小暮与作・道子／小林宮子／櫻井菊子／笹川雅弘／篠原基章／柴田初男／宗田信一／武田順児／田中幸子／中山良男／馬場千晶／早川佳枝／平塚治樹／平野雅子／福迫徹也／山口陽一／大和昌平／吉永則子

教会音楽献金

夏期教会音楽講習会／湘南のぞみキリスト教会／屋下がりのコンサート／八千代キリスト教会／新井竜治／伊藤天雄／入江仰／岩田順也／岩田三枝子／宇内千晴／大高市子／岡田雄／神田結実子／菊池美／倉沢正則・多実子／小林宮子／篠原基章／杉山雅／高取直子／匿名／内藤真奈／樋口基子／平野雅子／松永優・順子／丸山敏・裕子／溝口昌樹／匿名／山口陽一／大和昌平

夏期伝道献金

市川福音キリスト教会／捐斐キリスト教会／おゆめ野キリスト教会／土気チャペル／海浜霧張めぐみ教会／勝田台教会／クライスト・ミニステイ／越谷福音自由教会／品川教会／新家パプテス・キリスト教会／新松戸福音自由教会／返子キリスト教会／玉川上水キリスト教会／たまプラーザキリスト教会／千葉栄光教会／千葉・ニュータウン・パプテス・教会／チャペル献金／東京オン・ヌー・パプテス・教会／成田チャペル・ム・チャーチ／布佐キリスト教会／古川教会／平和台恵教会／恵みパプテス・教会／門前聖書教会／八千代聖書教会／理事・教職員懇談会献金／阿部伊作／伊藤天雄／伊東献仁／入江仰／岩田順也／岩田三枝子／上野峻一／遠藤潔・禎子／緒方慎八／岡野俊之／川島敬子／神田結実子／菅野淳一・綾／菊池美／木下美鈴／木村和弘・満枝／倉沢正則・多実子／黒川知文／小暮与作・道子／小林宮子／信太紀一／篠原基章／角谷稔／宝崎町子／匿名／鳥海祥／野瀬朋子／林佑亮／平井紀子／平野雅子／藤田直樹／溝口昌樹／柳沢美和子／山口陽

異文化実習支援献金

徐有珍／石塚恵司・和子／伊藤天雄／入江仰／岩田順也／岩田三枝子／加藤美杏香／川島敬子／川元久美／神田結実子／クック・デイビッド／倉沢正則・多実子／小林宮子／篠原基章／菅原好江／匿名／鳥海祥／根岸幸加／平野雅子／丸山敏・裕子／森優子／森田哲也／柳沢美和子／山口陽一／大和昌平

教会教職者志望学生奨学金基金

新船橋キリスト教会／千間台キリスト教会／馬堀聖書教会／八千代聖書教会／飯塚亜希子／匿名／伊藤天雄／入江仰／岩田順也／岩田三枝子／上原朋子／鶴崎創／内山茂生・智佐江／宇内千晴／沖野毅／小畑信吾／川島敬子／川島正子／神田結実子／菅野綾／菊池美／倉沢正則・多実子／小暮与作・道子／小林宮子／小宮隆雄／篠原基章／柴田初男／田口倫子／谷口精子／徳梅陽介／中川洋佑・麻祐／並木孝之／野瀬朋子／野瀬裕志・桂子／拝高潤一／馬場千晶／早川佳枝／久島健吉／平塚治樹／平野雅子／溝口昌樹／三井平康／匿名／森健／柳沢美和子／山口陽一／山下真実／大和昌平

留学生奨学金基金

株式会社ノア／千間台キリスト教会／八千代キリスト教会／Bible Rebecca／徐有珍／阿部伊作／伊藤天雄／入江仰／岩田順也／岩田三枝子／宇内千晴／大下由利子／岡田雄／川島敬子／神田結実子／菊池美／クック・デイビッド／倉沢正則・多実子／小林宮子／佐竹十喜雄／篠原基章／田口倫子／鳥海祥／内藤真奈／根岸幸加／平野雅子／福迫徹也／藤田直樹／丸山敏・裕子／溝口昌樹／匿名／森恵子／森優子／森田哲也／柳沢美和子／山口陽一／大和昌平

学校法人東京キリスト教学園  
明日の世界宣教者育成募金  
〇〇二〇一五七五五八四八

# Information

所…会場 日…日時 講…講師 料…受講料  
問…問い合わせ先 申…申し込み先

## 教会教職特別セミナー

テーマ: **教会と地域を結ぶ新たな宣教モデル**

—『福祉』を通して『教会』を見える化する—

日 2019年1月28日(月) 13:00-15:30

講 井上貴詞准教授

所 国際宣教センターチャペル

料 一般2,000円 支援会員1,000円(当日入会可)

申込内容 ①氏名 ②電話 ③E-mail ④所属教団・教会名

申込締切 1月23日(水)

申 E-mail: [fcc@tci.ac.jp](mailto:fcc@tci.ac.jp) Fax: 0476-31-5521

## オープンキャンパス

日 2019年1月19日(土)

内容 学部・学科説明、在学生によるTCU紹介、  
キャンパスツアー、模擬授業、  
学費・奨学金・入試ガイダンス、個別面談

宿泊をご希望の方は一泊まで無料で寮等に宿泊できます。

また定期的に教会に通っている方で、全てのプログラム  
参加者に交通費の補助を差し上げます。

## 入試情報

### 第Ⅰ期一般入学者選抜

出願期間	1/8(火)~1/15(火)必着
試験日	2/2(土)
合格発表	2/7(木)

### 第Ⅱ期一般入学者選抜

出願期間	2/18(月)~2/28(木)必着 ※窓口は3/8(金)正午まで受付
試験日	3/11(月)
合格発表	3/13(水)

### ■募集学科・専攻

神学科・国際キリスト教福祉学科(国際キリスト教学専攻・キリスト教福祉学専攻)

### ■対象

1年次入学、編入学(神学科教会教職専攻3年次編入含む)、  
神学科シニアコース

※教会音楽専攻科入試は第Ⅰ期一般入試と同日程で実施。

※大学院入試についてはお問い合わせください。

### ■選考方法

書類審査、筆記試験(聖書・小論文)、面接

※神学科教会教職専攻3年次編入学試験は英語の試験を行います。

### オープンキャンパス・入試に関するお問合せ

問 教務課入試担当 0476-46-1131

申 オープンキャンパスのお申込や資料請求は  
本学ウェブサイトからお申込ください。

## 冬学期 希望が丘エクステンション

「信仰共同体に生きた先人達に倣う」

日 2019年2月23日(土)、3月9日(土) 9:30-15:30

講 岡村直樹教授、菊池実教授

講義内容(全4講義)

①共に成長する信仰共同体(岡村)

②共に愛する信仰共同体(岡村)

③聖書人物伝1-神を愛し仕えた人々(菊池)

④聖書人物伝2-神を愛し仕えた人々(菊池)

所 カンバーランド長老キリスト教会 希望が丘教会

料 一括8,000円(一講義2,500円)

申込締切 2月13日(水)

申 教務部 希望が丘エクステンション係

TEL:0476-46-1131 FAX:0476-46-1405

Eメール: [extension@tci.ac.jp](mailto:extension@tci.ac.jp)

ウェブサイト申込フォームからも可能です。

## 卒業・修了記念コンサート

日 2019年2月15日(金) 19:00~20:30

所 大学チャペル

料 入場無料・申込不要

問 教務部([s-music@tci.ac.jp](mailto:s-music@tci.ac.jp))

## 春期卒業礼拝(卒業式)

日 2019年3月8日(金) 13:30~15:00

所 大学チャペル

問 総務課([soumu@tci.ac.jp](mailto:soumu@tci.ac.jp))

## 春期入学礼拝(入学式)

日 2019年4月4日(木) 13:30~15:00

所 大学チャペル

問 総務課([soumu@tci.ac.jp](mailto:soumu@tci.ac.jp))

### 編集後記

福祉専攻開設10周年記念のインタビューで止揚学園に行きました。滞在わずか3時間ほどでしたが、みなさん本当に温かく迎え入れてくださいました。スタッフのみなさんも含めてお互いの弱さを受け入れ合っているからこそその空気。弱さが人を生かし合い、人と人をつなげるのだなと、帰り道、その温かさを感じながら川沿いの道を歩きました。(中南)